

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2004-32125 (P2004-32125A)
 【公開日】平成 16 年 1 月 29 日 (2004.1.29)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-004
 【出願番号】特願 2002-182312 (P2002-182312)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 L 27/36

H 0 3 M 13/25

H 0 4 L 1/00

H 0 4 L 27/00

H 0 4 L 27/38

【F I】

H 0 4 L 27/00 F

H 0 3 M 13/25

H 0 4 L 1/00 B

H 0 4 L 27/00 G

H 0 4 L 27/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 13 日 (2004.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数ビットを一つのシンボルにマッピングする多値変調を行った信号の送受信を行う無線通信システムにおける受信装置であって、

信号の受信を行うアンテナと、受信信号をベースバンド帯域に変換する無線部と、該ベースバンド帯域に変換された受信信号の復調を行う復調器と、該復調された受信信号の尤度情報に基づいて復号を行う復号器とを具備し、

上記復調器は、上記受信信号の振幅を横軸に、尤度情報を縦軸にとって表現した場合に、上記復調信号の閾値からより遠いほうが傾きの絶対値が大きくなるような関数により、上記尤度情報を生成することを特徴とする受信装置。

【請求項 2】

複数ビットを一つのシンボルにマッピングする多値変調を行った信号の送受信を行う無線通信システムにおける受信装置であって、

信号の受信を行うアンテナと、受信信号をベースバンド帯域に変換する無線部と、該ベースバンド帯域に変換された受信信号の復調を行う復調器と、該復調された受信信号の尤度情報に基づいて復号を行う復号器とを具備し、

上記復調器は、入力された多値変調信号の最小信号点間距離に応じて、最小信号点距離が大きいほど復号器に尤度情報の値を大きくすることを特徴とする受信装置。

【請求項 3】

複数ビットを一つのシンボルにマッピングする多値変調を行った信号の送受信を行う無線通信システムにおける受信装置であって、

信号の受信を行うアンテナと、受信信号をベースバンド帯域に変換する無線部と、該ベ

ースバンド帯域に変換された受信信号の復調を行う復調器と、該復調された受信信号の尤度情報に基づいて復号を行う復号器とを具備し、

上記復調器は、受信信号の送信装置との間の無線伝搬路における利得に応じて、利得が大きいほど復号器に入力する尤度情報の値を大きくすることを特徴とする受信装置。

【請求項 4】

複数ビットの情報を含む多値変調受信信号を復調して復調信号を形成し、該復調信号の尤度情報を形成し、上記復調信号の尤度情報に基づいて復号を行う信号処理方法において

、
上記復調信号の尤度情報は、上記復調信号の振幅を横軸に、尤度情報を縦軸にとって示した場合に、上記復調信号の閾値からより遠いほうが傾きの絶対値が大きくなるような関数により求められることを特徴とする信号処理方法。

【請求項 5】

複数ビットの情報を含む多値変調受信信号を復調して復調信号を形成し、該復調信号の尤度情報を形成し、上記復調信号の尤度情報に基づいて復号を行う信号処理方法において

、
上記復調信号の尤度情報は、上記復調のために入力された多値変調信号の最小信号点間距離が大きいほど大きな値とすることを特徴とする信号処理方法。

【請求項 6】

複数ビットの情報を含む多値変調受信信号を復調して復調信号を形成し、該復調信号の尤度情報を形成し、上記復調信号の尤度情報に基づいて復号を行う信号処理方法において

、
上記復調信号の尤度情報は、受信信号の送信装置との間の無線伝搬路における利得が大きいほど大きな値とすることを特徴とする信号処理方法。